

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 1293 号	氏名	Mpingabo Ilunga Patrick
学位審査委員		主査	南保 明日香 教授
		副査	児玉 年央 教授
		副査	好井 健太郎 教授
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、これまで未知であった各種アレナウイルスの出芽過程における細胞種依存性について、ウイルス由来マトリクスタンパク質 Z タンパク質の L-ドメインの役割に着目して検証を行ったものであり、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 各種アレナウイルスの Z タンパク質を、多様な動物種ならびに組織由来の培養細胞に発現させ、産生されたウイルス様粒子をウェスタンブロット法により定量する実験系を用いることで細胞種依存性を、さらに L-ドメイン変異体を用いて、ウイルス様粒子産生における役割を評価したものであり、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、Z タンパク質依存的なウイルス様粒子形成において細胞種依存性が認められた。さらに、L-ドメイン変異が粒子形成に与える影響についても細胞種依存性であることが判明した。以上の結果は、Z タンパク質がアレナウイルスの臓器あるいは細胞種指向性に貢献する可能性を示唆するものであり、今後のアレナウイルス研究への貢献が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文はアレナウイルス研究の進展に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>			